

木造家屋建築工事における死亡災害事例（平成23年1月以降分、* 3.11地震・津波の直接原因を除く）

宮城労働局 平成25年7月30日現在

No	管轄	災害発生年月日	事故の型	起因物	被災時の作業内容	災害の概要()	推定原因
1	石巻	平成23年 6月	墜落、転落	足場	屋根上での片付け作業	092 地震により被災したお寺の屋根瓦の葺き替え作業をしていたが、雨が降ってきたため片付けをしていたところ、足場の手すり作業床の間から約5m下へ転落した。安全帯は使用していなかった。	足場の設置はあったが、墜落防止措置が不十分であった。
2	仙台	平成23年 8月	飛来、落下	その他の建設用機械	現場清掃	092 現場敷地西側に置いてあった畳を片付けるため、畳の上にあったバケットをグラブ仕様油圧ショベルで、約2メートルの高さで把持、約40度回転したところで、バケットが落下し、下方で他作業をしていた被災者背部に激突した。なお、被災者は、オペからは死角にあったもの。	誘導者未設置、作業計画なし
3	仙台	平成24年 1月	激突され	その他の建設用機械	解体くずフレコンバック詰め	092 名取市発注の震災家屋解体工事現場において、バケットをグラブに変えた油圧ショベルを移動させるため、高さ約2mのがれきの山を走行しながら回転したところで転倒し、付近で他作業をしていた被災者の頭部にアーム部分が激突した。	
4	石巻	平成24年 3月	その他	起因物なし	通勤途上	通勤途上、自宅玄関前で倒れているところを発見された。東日本大震災後業務が激増し、著しい疲労をもたらす過重な業務に就労していた。	業務による過重負荷により、脳出血を発症した。
5	古川	平成24年 3月	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	ルーフィング敷	092 震災で痛んだ木造平屋の屋根葺き替え工事において、既存の瓦を撤去し、野地板にアスファルトルーフィングを敷いている作業中に屋根の端から約3.6m下の道路に墜落した。当時足場等の墜落防止措置もなく、強風警報が発令されていた。	強風に煽られた。
6	仙台	平成24年11月	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	建て方作業	木造家屋新築工事現場において、建て方作業中に高さ2m位の足場、若しくは高さ3.5m位の梁から墜落した。	
7	大河原	平成25年 4月	墜落、転落	はしご等	昇降	既存の木造2階建住宅の屋根塗装補修作業において、軒高約3.1mの屋根へ片手に塗料缶をもち、梯子を昇降中に墜落した。	昇降時の墜落防止設備もなく、バランスを崩した。
8	瀬峰	平成25年 7月	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	火打梁の固定作業	物置(平屋建)新築工事現場において、梁と桁に足を掛けて火打梁を固定する作業に従事していた被災者が3.3m下方のコンクリート基礎まで墜落した。	墜落防止措置が講じられていなかったこと。

冒頭に092と記載されているものは、東日本大震災の復旧・復興工事によるものです。